



2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月2日

上場会社名 株式会社アルテ サロン ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 2406 URL <https://www.arte-hd.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉村 栄義
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 坂口 満春 TEL 045-663-6123
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
 四半期決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	4,160	15.8	184	—	240	401.4	139	—
2020年12月期第2四半期	3,594	△12.6	△41	—	48	△73.8	△189	—

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 138百万円(—%) 2020年12月期第2四半期 △188百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	14.05	—
2020年12月期第2四半期	△19.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	8,437	2,791	33.1
2020年12月期	8,347	2,673	32.0

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 2,791百万円 2020年12月期 2,673百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	2.00	2.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,700	10.6	400	224.0	400	31.8	210	—	21.21

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年12月期2Q	10,300,000株	2020年12月期	10,300,000株
2021年12月期2Q	399,743株	2020年12月期	399,743株
2021年12月期2Q	9,900,257株	2020年12月期2Q	9,900,257株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、四半期決算説明会に代えて、2021年8月4日に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明動画を当社ウェブサイトにて配信いたします。

なお、四半期決算補足説明資料については、TDnet及び当社ウェブサイトにて同日開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2021年1月1日～2021年6月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にあります。感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあり、持ち直しの動きが続くことが期待される一方、感染の動向が内外経済に与える影響や金融資本市場の変動等の影響につき注視が必要な状況にあります。

美容室業界におきましては、2020年4月の緊急事態宣言発令時には顕著な影響を受けましたが、コロナ禍にあってもサービスへの需要は底堅く、来店客数等は回復傾向にあります。しかしながら、7月には東京に4度目の宣言が発令される等、第5波の感染拡大により美容室業界の業績への影響も依然として予断を許さない状況にあります。

このような状況の中、当社グループでは、お客様や従業員の安全と健康を確保することを第一に、政府・自治体からの要請と各店舗の現状に合わせた感染症予防策を徹底し、安心してご来店頂けるよう様々な施策を積極的に実施しております。

また、コロナ禍の影響への対策として、来店促進キャンペーンや新メニュー導入・「巣ごもり消費」需要を捉えた店販強化等の客単価アップ施策を中心に展開しております。同時に、店舗運営、販促、技術教育等あらゆる面でデジタル化を加速させ、生産性の向上を図り、いずれくる「美容業界のDX化」を見据え、グループの更なる成長を支える収益基盤の強化としてデジタル・スマート化に取り組んでまいります。

当社グループは、長期的なポートフォリオ戦略に基づき、複数のブランドを展開し、事業会社ごとにお客様の多様なニーズに応えております。高品質なサービスをリーズナブルな料金で提供するアッシュ、ニューヨーク・ニューヨークなどのデザイン系サロンを中核に置き、定期的なヘアメンテナンスの需要拡大を背景にエコノミーな料金で施術サービスを行うChoki Petaブランドの出店展開も行っております。当社グループは、それぞれの事業会社・ブランドごとにより安心・安全な店舗の衛生管理を徹底した上で、営業活動を展開すると同時に、経営理念「地域のお客様に美と健康と若々しさを提供し、当社グループに関わるすべての人と共に幸福社会を築いていける会社づくりを目指す」を旗印として掲げ、美容を通じて地域の皆様を豊かにすることを目的に、地域一番店を目指すため、グループの結束力を高め経営の効率化等の諸施策を実施しております。

デザイン系サロンにおいては、お客様の来店施策として、新たなWebマーケティング戦略を展開し、SNSによるスタイリストの美容情報の発信や自社ホームページでのサロンごとの特色を活かしたコンテンツ、Web予約システムやメール会員獲得による集客の強化に取り組んでおります。単価アップの施策としては、他のサロンと比較した技術の優位性を体感頂く施術と大人客を囲い込む接客力を強化し、更に、ワンランクアップのつや感を演出するカラー施術やデザイン性を重視したパーマ施術、髪質改善の付加価値メニューの提案を行っております。

また、様々なPB商品を展開し、人や地球環境にやさしい天然由来成分配合のオリジナルのヘアケア&スキンケアの新ブランド「ennic(エニック)」シリーズについては、サロン店頭に加え、外部ECサイトや首都圏の大手百貨店でのポップアップ販売等、ブランド認知の向上を図っております。今後はブランドイメージ向上のため、関西エリアでの百貨店ポップアップ販売や自社ECサイトの立ち上げを準備しております。

メンテナンス系サロンのChoki Petaは、商業施設への出店を中心に進めることで、買い物ついでに短時間かつエコノミー料金で、カットとカラーのサービスを提供しております。また、2020年度より「セルフドライ」をして頂くことで、お客様の待ち時間や施術時間の短縮につながり、更に利便性が高まるというライフスタイルに密着したサービスを提供しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社主要子会社のチェーン売上高は、株式会社アッシュ(以下「Ash」)が前年同期比121.1%、株式会社ニューヨーク・ニューヨーク(以下「NYNY」)が同116.6%、株式会社スタイルデザイナー(以下「SD」)が同108.3%、株式会社C&P(以下「C&P」)が同130.1%となりました。また、当社主要子会社の入客数は、同113.9%となっております。以上により、当社グループチェーンの全店売上高合計は、8,772百万円(同118.4%)となっております。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結子会社店舗数は、335店舗(Ash128店舗、NYNY42店舗、SD99店舗、C&P56店舗、株式会社ダイヤモンドアイズ10店舗)となり、海外店舗数1店舗(シンガポール共和国)を加え、当社グループ店舗数は、336店舗となりました。なお、NYNYが展開する関西圏のChoki Petaの店舗数は、10店舗となっており、グループにおけるFC店舗数は、226店舗(Ash104店舗、NYNY21店舗、SD99店舗、C&P2店舗)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は4,160百万円(前年同期比115.8%)、営業利益は184百万円(前年同期は営業損失41百万円)、経常利益は240百万円(同501.4%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は139百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失189百万円)となりました。

当社グループは、美容室チェーン展開を行う事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析(資産、負債及び純資産の状況)

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、77百万円増加して2,803百万円となりました。

これは主として、現金及び預金の増加339百万円、未収入金の減少116百万円(四半期連結貸借対照表上は流動資産「その他」で表示)、立替金の減少84百万円(四半期連結貸借対照表上は流動資産「その他」で表示)、売掛金の減少65百万円によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、13百万円増加して5,633百万円となりました。

これは主として、新規出店、移転、改装等による建物(純額)の増加59百万円、のれんの償却進展による減少22百万円、敷金及び保証金の減少14百万円によるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて、90百万円増加して8,437百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、267百万円減少して2,526百万円となりました。

これは主として、未払金の減少390百万円、未払消費税等の増加49百万円(四半期連結貸借対照表上は流動負債「その他」で表示)、1年内返済予定の長期借入金の増加38百万円、未払法人税等の増加35百万円によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、238百万円増加して3,118百万円となりました。

これは主として、設備投資資金として調達した長期借入金の増加244百万円によるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて28百万円減少して5,645百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて、118百万円増加して2,791百万円となりました。

これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益139百万円の計上、配当金支出19百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の32.0%から33.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」)は、前連結会計年度末に比べ339百万円増加し、1,535百万円となりましたが、主な要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は468百万円(前年同四半期は595百万円の支出)となりました。

これは主として、税金等調整前四半期純利益216百万円、減価償却費269百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は390百万円(前年同四半期は440百万円の支出)となりました。

これは主として、新規出店、移転、改装等に伴う有形固定資産の取得による支出385百万円、敷金及び保証金の差入による支出31百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は262百万円(前年同四半期は3,392百万円の収入)となりました。

これは主として、設備投資資金として調達した長期借入れによる収入560百万円、長期借入金の返済による支出276百万円、配当金の支払額19百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2021年2月9日に公表しました連結・個別の第2四半期累計期間(2021年1月1日～2021年6月30日)の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、2021年7月30日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,195,214	1,535,080
売掛金	422,352	357,064
商品	145,259	137,782
貯蔵品	14,701	12,825
その他	954,243	765,316
貸倒引当金	△5,024	△4,294
流動資産合計	2,726,749	2,803,774
固定資産		
有形固定資産		
建物	6,479,813	6,569,431
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,647,405	△3,677,256
建物(純額)	2,832,408	2,892,175
車両運搬具	26,623	26,861
減価償却累計額	△16,306	△18,140
車両運搬具(純額)	10,316	8,720
工具、器具及び備品	1,409,650	1,441,927
減価償却累計額及び減損損失累計額	△963,983	△985,682
工具、器具及び備品(純額)	445,667	456,245
土地	136,182	136,182
リース資産	18,021	18,021
減価償却累計額	△3,754	△5,256
リース資産(純額)	14,267	12,765
建設仮勘定	367	—
有形固定資産合計	3,439,209	3,506,088
無形固定資産		
のれん	211,186	188,914
その他	69,421	59,342
無形固定資産合計	280,607	248,256
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,408,276	1,394,084
その他	497,530	489,389
貸倒引当金	△5,353	△4,546
投資その他の資産合計	1,900,453	1,878,928
固定資産合計	5,620,270	5,633,273
資産合計	8,347,019	8,437,048

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	98,446	77,200
短期借入金	150,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	532,455	571,373
未払金	1,722,424	1,331,809
未払法人税等	46,214	81,656
賞与引当金	4,128	6,714
株主優待引当金	28,815	28,815
資産除去債務	17,410	17,569
その他	194,105	261,202
流動負債合計	2,794,000	2,526,342
固定負債		
長期借入金	2,040,030	2,284,890
株主優待引当金	3,262	3,262
退職給付に係る負債	72,279	70,190
資産除去債務	549,855	559,337
その他	214,487	201,030
固定負債合計	2,879,914	3,118,710
負債合計	5,673,915	5,645,052
純資産の部		
株主資本		
資本金	498,000	498,000
資本剰余金	860,292	860,292
利益剰余金	1,426,357	1,545,646
自己株式	△113,425	△113,425
株主資本合計	2,671,223	2,790,512
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,880	1,483
その他の包括利益累計額合計	1,880	1,483
純資産合計	2,673,103	2,791,995
負債純資産合計	8,347,019	8,437,048

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	3,594,223	4,160,530
売上原価	2,708,079	3,065,501
売上総利益	886,144	1,095,029
販売費及び一般管理費	927,625	910,282
営業利益又は営業損失(△)	△41,481	184,746
営業外収益		
受取利息	1,246	669
受取手数料	5,456	4,068
貸倒引当金戻入額	—	1,538
受取補償金	—	7,170
助成金収入	85,065	46,430
その他	8,205	8,324
営業外収益合計	99,973	68,201
営業外費用		
支払利息	8,051	8,430
その他	2,404	3,671
営業外費用合計	10,455	12,102
経常利益	48,036	240,846
特別利益		
固定資産売却益	100	—
受取補償金	—	15,184
助成金収入	74,602	5,389
特別利益合計	74,702	20,574
特別損失		
固定資産除却損	841	1,359
店舗閉鎖損失	6,163	1,904
減損損失	16,887	23,188
資産除去債務履行差額	6,890	6,636
感染症関連損失	339,125	12,168
特別損失合計	369,908	45,258
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△247,170	216,162
法人税、住民税及び事業税	25,421	76,331
法人税等調整額	△83,539	742
法人税等合計	△58,118	77,073
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△189,052	139,089
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△189,052	139,089

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△189,052	139,089
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	231	△397
その他の包括利益合計	231	△397
四半期包括利益	△188,820	138,691
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△188,820	138,691

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△247,170	216,162
減価償却費	245,633	269,793
減損損失	16,887	23,188
のれん償却額	33,263	32,772
その他の償却額	2,011	1,924
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1,224	△2,088
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,803	△1,536
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,494	2,586
株主優待引当金の増減額(△は減少)	1,955	—
受取利息及び受取配当金	△1,273	△696
助成金収入	△159,667	△51,820
支払利息	8,051	8,430
為替差損益(△は益)	301	△242
有形固定資産売却損益(△は益)	△100	—
受取補償金	—	△22,354
受取保険金	—	△1,575
有形固定資産除却損	841	1,359
F C契約解約損益(△は益)	—	△660
店舗閉鎖損失	6,163	1,904
資産除去債務履行差額	6,890	6,110
感染症関連損失	339,125	12,168
投資有価証券評価損益(△は益)	234	184
売上債権の増減額(△は増加)	2,784	65,288
たな卸資産の増減額(△は増加)	△30,868	9,353
立替金の増減額(△は増加)	88,303	84,820
その他の資産の増減額(△は増加)	3,642	86,015
仕入債務の増減額(△は減少)	△22,072	△21,245
未払金の増減額(△は減少)	△377,119	△352,779
未払消費税等の増減額(△は減少)	△99,162	49,296
その他の負債の増減額(△は減少)	12,925	15,845
小計	△168,950	432,205
利息及び配当金の受取額	1,359	727
利息の支払額	△9,088	△8,487
補償金の受取額	—	22,354
保険金の受取額	—	1,575
法人税等の支払額	△116,392	△40,889
助成金の受取額	25,051	72,529
感染症関連損失の支払額	△327,116	△11,813
営業活動によるキャッシュ・フロー	△595,137	468,201

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△392,757	△385,145
有形固定資産の売却による収入	11,801	—
無形固定資産の取得による支出	△19,940	△3,646
資産除去債務の履行による支出	△6,400	△7,666
投資有価証券の取得による支出	△81	△82
投資事業有限責任組合出資の払戻による収入	—	569
のれんの取得による支出	△41,000	△10,500
貸付けによる支出	△27,870	△13,368
貸付金の回収による収入	33,231	17,612
保険積立金の積立による支出	△3,462	△3,421
敷金及び保証金の差入による支出	△27,152	△31,630
敷金及び保証金の回収による収入	26,647	55,498
預り保証金の返還による支出	△2,221	△11,357
預り保証金の受入による収入	8,610	2,370
投資活動によるキャッシュ・フロー	△440,597	△390,767
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	3,150,000	1,500,000
短期借入金の返済による支出	—	△1,500,000
長期借入れによる収入	600,000	560,000
長期借入金の返済による支出	△282,158	△276,222
配当金の支払額	△73,989	△19,724
リース債務の返済による支出	△1,621	△1,621
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,392,230	262,431
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,356,496	339,865
現金及び現金同等物の期首残高	1,575,830	1,195,214
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,932,327	1,535,080

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積り)

第1四半期の四半期報告書(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はありません。

(重要な後発事象)

(多額な資金の借入)

当社は、2021年6月24日開催の取締役会において、2021年1月に調達した総額1,500百万円は取引期限通り、2021年6月30日に一括返済し、新たに当座貸越限度額の範囲内で運転資金を安定的に調達することを目的として総額1,500百万円の借入による資金調達を実行することを決議し、2021年7月1日に実行いたしました。

調達先	当座貸越限度額	調達額	実行日	取引期限
横浜銀行	1,500百万円	750百万円	2021年7月1日	2021年12月30日
三井住友銀行	700百万円	350百万円	2021年7月1日	2021年12月30日
みずほ銀行	400百万円	200百万円	2021年7月1日	2021年12月30日
三菱UFJ銀行	400百万円	200百万円	2021年7月1日	2021年12月30日